

2 パソコンメモを有効に使おう

—数秒の時間を無駄にしないことで仕事が進む—

仕事術のポイント

- ▶ 圧倒的な立ち上がりの速さがメモの長所
- ▶ メモを下のバーに入ること、さらに早く使える
- ▶ メモで打った後は、ワードで清書

1. 圧倒的な立ち上がりの速さがメモの長所

ワードよりも立ち上がりが圧倒的に早い。


メモは1秒。ワードは、パソコンの性能によるが、3～10秒。

その数秒が大事で、覚えている間に、とにかく書き連ねるようにしてかく。

すぐに起動するので、イライラせず、忘れることもなく、思いついたことを書ける。

子どものききとりもメモで書いている。書き方のコツとして、
< >を使ったり、改行したり、
箇条書きで書いたりしている。

ワードは文字が薄かったりすると変換をしないといけなく、少しの手間がかかるので、思い出しを打つには、私には適さない。

 運動会徒競走の指導 - メモ帳

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

運動会徒競走の指導など

2023年5月5日 運動会徒競走指導

<事前準備>

- 1、足の速さを元に、赤白を決める。(背の高さも少し考慮)
- 2、各クラスの足の速さの赤白データをもらう。
- 3、担当が、赤白を用いた並びを決める。
※一番遅い子は真ん中らへんにする。
一番早い子らは、最後らへんにする。
一番前の子は、普通ぐらいの速さにする。
なおかつ、しっかりとルートを間違えにくそうな子をもってくる。
- 4、データを各クラスにわたす。
※去年の流れも確認をする。

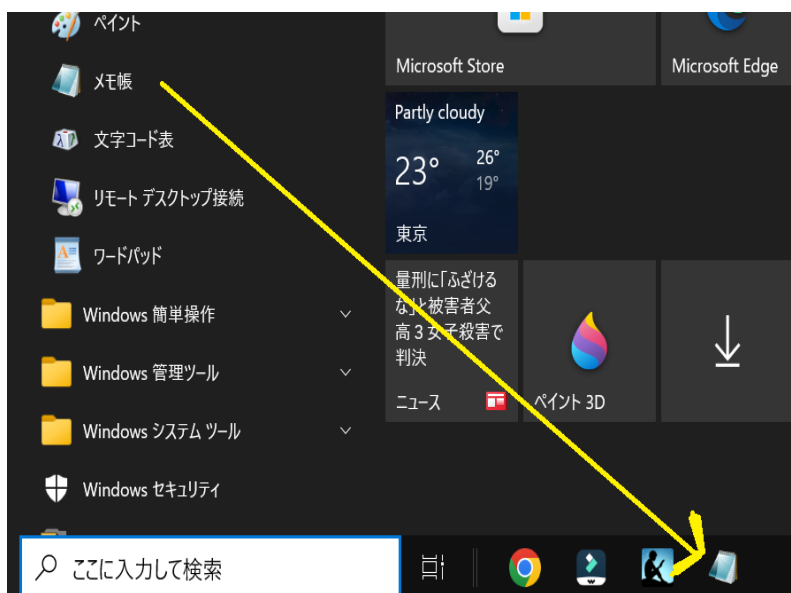
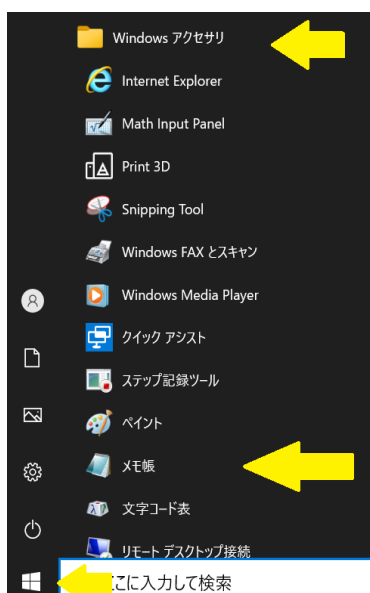
<教室指導>

- 5、クラスで並びを指導する。
- 6、入場、スタート、終わった後、退場の流れを図を示して指導。
- 7、入場、退場も大事という。大事なポイントをいう。
- 8、勝者のマナー、敗者のマナーをいう。
勝っても、友だちに自慢をしない。負けてもがんばって、
ふてくされない。最後までどうとすると、退場までがんばる。

2. メモを下のバーに入ること、さらに早く使える

メモをすぐに使えるようにするには、下のバーに入れるのがいい。

こうすることですぐに使える。毎度毎度、アクセサリから探す間にワーキングメモリーを使い、折角の発想を忘れることもある。数秒が命である。

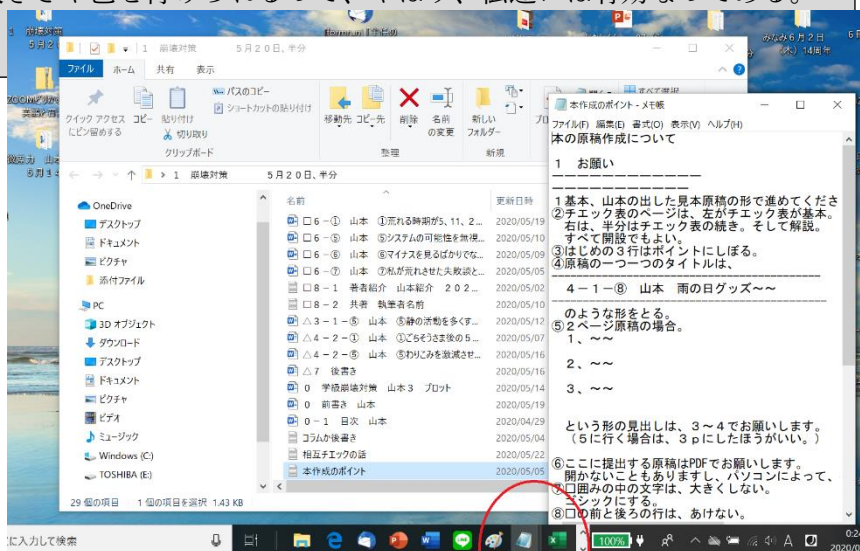


3. メモで打った後は、ワードで清書

メモでとりあえず、書き連ねる。そしてから、ワードに移し替える。

ワードは、文字の大きさや色を付けられるので、やはり、伝達には有効なのである。

メモでとりあえず、書きまくり、文章を9割書く。その後、ワードに文字を写し、拡大したり、色を変えたりする。そうすることで、伝えやすくなる。使い分けよう。



こんなことに注意！

こんな方法もあります

+時短のポイント

パソコンの性能によって時間が変わる。私は、パソコンの中を HDD から SSD に変更した。それをするだけで、ワードの立ち上がりが 13 秒も変わった。パソコンの性能を高めるのも仕事術の一つであると思った。